



平成31年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年6月12日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL http://www.kin-ei.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)田中 耕造
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)好井 裕一 (TEL)06(6632)4553
 四半期報告書提出予定日 平成30年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年1月期第1四半期の業績(平成30年2月1日～平成30年4月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第1四半期	892	△2.5	65	△12.3	73	△1.8	49	0.3
30年1月期第1四半期	915	11.6	75	55.7	74	56.2	49	47.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年1月期第1四半期	17.67	—
30年1月期第1四半期	17.61	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年1月期第1四半期	5,242	1,946	37.1
30年1月期	5,012	1,925	38.4

(参考) 自己資本 31年1月期第1四半期 1,946百万円 30年1月期 1,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年1月期	—				
31年1月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年1月期の業績予想(平成30年2月1日～平成31年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,720	△6.3	90	△36.3	90	△36.6	60	△32.5	21.51
通期	3,530	△0.4	190	△7.6	190	△8.6	110	△7.9	39.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年1月期1Q	2,821,000株	30年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	31年1月期1Q	31,925株	30年1月期	31,925株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年1月期1Q	2,789,075株	30年1月期1Q	2,789,320株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、所得が緩やかに回復し、個人消費が持ち直しの動きを示すなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

この間当社におきましては、事業全般に亘る顧客満足度のより高いサービスの提供と部門別業績管理の徹底をさらに推進し、集客と収入の確保に努めました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業におきましては、“名探偵コナン” “グレイテスト・ショーマン” “ドラえもん” “リメンバー・ミー” “ボス・ベイビー” などの話題作を上映する一方、「アポロシネマメンバーズ」の会員獲得等による販売促進活動を積極的に推し進めましたが、前年度に上映した人気作品の興行収入を上回るには至らず、収入合計は452,360千円（前年同期比3.3%減）となり、営業原価控除後のセグメント利益におきましても35,939千円（前年同期比10.4%減）となりました。

不動産事業におきましては、アポロビル・ルシアスビルともに積極的なテナント誘致活動を進めましたが、一部区画にテナント入退去の間の空室期間が生じたため、このセグメント全体の収入合計は440,169千円（前年同期比1.7%減）となり、セグメント利益につきましては、102,812千円（前年同期比4.1%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高合計は892,530千円（前年同期比2.5%減）となり、費用面におきましても、部門別業績管理の徹底により、諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業利益は65,825千円（前年同期比12.3%減）となり、経常利益は73,540千円（前年同期比1.8%減）、四半期純利益は49,277千円（前年同期比0.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、現在実施中のアポロビル耐震補強工事に伴う固定資産の増加等により前期末に比較して230,682千円増加し、5,242,898千円となりました。負債は、耐震補強工事所要資金にかかる長期借入金の増加等により、前期末に比較して210,091千円増加し、3,296,875千円となりました。純資産は、四半期純利益など利益剰余金の増加額が配当金の支払い等による減少額を上回ったため、前期末に比較して20,591千円増加し、1,946,022千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年1月期の業績予想につきましては、平成30年3月14日に「平成30年1月期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,507	155,298
売掛金	104,378	135,857
商品	4,562	3,899
その他	608,832	480,024
流動資産合計	803,282	775,079
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,035,444	1,982,903
機械及び装置(純額)	40,467	38,518
工具、器具及び備品(純額)	78,832	72,919
土地	1,123,748	1,123,748
建設仮勘定	37,224	345,684
有形固定資産合計	3,315,716	3,563,774
無形固定資産		
	17,965	32,002
投資その他の資産		
差入保証金	822,343	822,343
その他	52,907	49,697
投資その他の資産合計	875,251	872,041
固定資産合計	4,208,933	4,467,818
資産合計	5,012,215	5,242,898
負債の部		
流動負債		
買掛金	120,424	142,583
短期借入金	280,000	250,000
未払法人税等	44,954	33,100
賞与引当金	11,900	25,900
その他	657,947	613,081
流動負債合計	1,115,226	1,064,664
固定負債		
長期借入金	—	300,000
退職給付引当金	91,439	93,277
受入保証金	1,560,290	1,521,824
資産除去債務	290,364	290,364
その他	29,464	26,745
固定負債合計	1,971,558	2,232,211
負債合計	3,086,784	3,296,875

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,442,319	1,463,705
自己株式	△109,215	△109,215
株主資本合計	1,921,459	1,942,845
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,971	3,176
評価・換算差額等合計	3,971	3,176
純資産合計	1,925,430	1,946,022
負債純資産合計	5,012,215	5,242,898

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年4月30日)
売上高	915,500	892,530
営業原価	768,238	753,778
営業総利益	147,262	138,752
一般管理費	72,196	72,927
営業利益	75,065	65,825
営業外収益		
受取利息	226	238
違約金収入	—	7,866
保険差益	96	268
雑収入	26	90
営業外収益合計	349	8,463
営業外費用		
支払利息	490	748
雑支出	3	0
営業外費用合計	493	748
経常利益	74,920	73,540
特別損失		
固定資産除却損	3,907	1,870
特別損失合計	3,907	1,870
税引前四半期純利益	71,012	71,669
法人税、住民税及び事業税	29,648	30,126
法人税等調整額	△7,768	△7,734
法人税等合計	21,879	22,392
四半期純利益	49,132	49,277

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(平成29年2月1日から平成29年4月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	467,729	447,771	915,500	—	915,500
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	467,729	447,771	915,500	—	915,500
セグメント利益	40,100	107,161	147,262	△72,196	75,065

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(平成30年2月1日から平成30年4月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	452,360	440,169	892,530	—	892,530
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	452,360	440,169	892,530	—	892,530
セグメント利益	35,939	102,812	138,752	△72,927	65,825

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。